

【樹木の部屋】

ユズリハ（ユズリハ科ユズリハ属 *Daphniphyllum macropodum*）

和名：ユズリハ（櫟、交譲木、譲葉）

別名：ユズルハ、ショウガツノキ、ツルシバ、オヤコグサ

英名：Bramble

ユキノシタ目 常緑高木

原産地：日本、韓国、中国

花言葉：世代交代

花の色：



← 写真-1 ユズリハ

撮影日：2018年04月11日

撮影場所：芳徳寺

（奈良市柳生）にて

撮影者：Mさん



→ 写真-2 ユズリハの葉

撮影日：2018年04月11日

撮影場所：芳徳寺（奈良市柳生）にて

撮影者：Mさん

樹高3Mほどの幼木でしたが、奈良市柳生の芳徳寺の柳生家墓所の近くで見かけました。

春に枝先に若葉が出たあと、前年の葉がそれに譲るように落葉する様子を、親が子を育てて家が代々続いていくように見立てて縁起物とされ、正月の飾りや庭木に使われる樹です。

葉は互生し、輪生状に枝先に集まります。葉身は狭長楕円形で革質、表面は深緑色、裏面は白っぽく、葉柄は赤味を帯び、縁は全縁です。

花は5月から6月に咲き花被がなく、葉腋から総状花序を出します。果実は10月から11月に熟し、黒褐色になり、雌雄異株です。

葉や樹皮に、ダフニマクリンというアルカロイドを含むので、誤って食べたりすると、マヒ、呼吸衰弱、心臓麻痺などの症状があらわれるので要注意です。